



VOICE

読者のページ

2025年6月号(53巻6号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

病理解剖を徹底解剖！

- Virchow 法と Rokitansky 法の違いは認識していましたが、双方の具体的な流れ、メリット・デメリットを学べて、大変興味深い特集でした。 YM (沖縄県)
- 当院でもコロナ禍を経て病理解剖の実施数が大きく減っています。なかでも、妊産婦や胎児の病理解剖はとても少ないと思います。希少な症例を詳しく解説いただき、大変勉強になりました。 TM (福井県)
- 病理解剖は新人時代に見学して以来で、学び直しの機会を得られて良かったです。死後画像診断 (Ai) の現状への言及もあり、普段病理検査にかかわっていませんでしたが、興味深く読みました。 YO (岐阜県)

From LABO

ドクターカー業務で活躍する臨床検査技師

- ドクターカーでも臨床検査技師ができることがあると知り、興味深かったです。他職種とのコミュニケーションの大切さを実感しました。 ささみ (岐阜県)
- こんな世界があるとは、知りませんでした。法改正がなされて、臨床検査技師がもっと活躍できる日がくるというと思います。 早基地 (神奈川県)
- 救急現場における臨床検査技師の役割がよくわかる興味深い記事でした。自分自身も検査室にとどまらず、さまざまなシーンで必要とされる臨床検査技師になりたいと思いました。 HH (兵庫県)

基礎講座

心エコー図検査における asynergy 評価と Simpson 法トレース

- Simpson 法はトレースライン次第で結果が変化してしまいます。適切なトレースラインの設定を知ることができて、ためになりました。 SS (奈良県)
- 心エコーに取り組む際に覚えておきたいポイントがわかりやすく、勉強になりました。 SI (長崎県)
- 壁運動評価に悩んだら、送信周波数やダイナミックレンジを調整してみます！ まるねこ (兵庫県)
- まるで教科書のような、はじめての人でも理解しやすい記事だと感じました。きれいな写真が豊富で、MRI との比較もあり、私が現役の時に欲しかったくらいです。 蟹座の星 (東京都)

MT Seminar

微生物検査を外部委託する場合の ビットフォール

- 検査科到着後に検体を長時間室温で放置することはほぼありませんが、患者さんが自宅に容器を持ち帰り採取してくる場合など、検体の保存について説明が必要だと感じました。 YI (鹿児島県)
- 検体をもっともいい状態で提出しないと確実な結果を得られないという基本的なことが、わかりやすい結果の違いとしてまとめられており、勉強になりました。 さとしさん (兵庫県)
- 微生物検査は外部委託ですが、検査結果の乖離がよくあります。その度に問い合わせるなど、委託先と緊密に連絡をとることも大事だと思います。 YK (東京都)

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、または Web アンケート
にてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています！

